

<靈的備え>

主よ あなたは貧しい者たちの願いを聞いてくださいます。あなたは彼らの心を強くし耳を傾けてくださいます。みなしごと虐げられた者をかばってください。

地から生まれた人間が もはや 彼らをおびえさせることがないように。(詩篇 10:17—18)

<理解の手引き>

「エバ」：「生命」または「生きること」の意味があります。

「皮の衣」：この節の背後には、神に近づく道としてのいけにえの制度が暗示されています。これは神のあわれみによるものです。

「ケルビム」：神の臨在を示す天の存在で御使いとも考えられます。

聖書の他の箇所では至聖所を守ものとして出てきます。

「輪を描いて回る炎の剣」：これは神の怒りの象徴で、神の厳然たるさばきを表しています。

神は人を樂園から追放し、いのちの木から食べさせないようにして、「一時的な死」を体験させました。そのことによって人が自分の限界と罪とを知り、悔い改めて神に立ち返り、永遠のいのちを得ることを可能にされたのです。

<考えてみよう>

(観察) 罪を犯した人とその妻に対して、神はどのようなことをなされましたか？

.....
.....
.....

(解釈) 何故、神は彼らのために、皮の衣を作られたのですか？ この靈的意味は何ですか？

.....
.....
.....

(適用) このことから、神について、どのようなことを学ぶことができますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....